

天才バカドンの歌

パリ在住 瀬田康司〈エッセイスト〉

今日も聞こえる
バカドンの歌が
濡れ手に粟した
あの歌が

下にも知らせず
誰にも知られず
転がり込んだ
この椅子よ

椅子があるから、
エーンヤコーラー
妾はごますり
ネーン、モミモミ！
〈フー・アー・ユー？〉
〈アイ・アム・ヒラリーズ・ハズバンド〉
特別おまけに、
〈ミー・トゥー！！〉

下には「バカ」と
自分にあんちょこ
それでもよいのだ
この椅子は

椅子はいいもの
エーンヤコーラー
わけも知らぬが
エーン、ヤヤコシ
〈ファット・イズ・イット？〉
〈イット・イズ・アイ・ティー〉
特別おまけに
〈それは革命だ！〉

下には「徳なし」と

自分は賭けゴルフ
それでいいのだ
この日本

椅子を守るぞ
エーンヤコーラ
賭けには負けぬぞ
エート、ホールハ？
〈ホワット・ハッペン？〉
〈原潜が漁船にぶつかり、人が死にました、閣下〉
特別おまけに
〈ア、ソ。で、秘書官、俺は勝ってるんか？〉

今日も聞こえぬ
それでも動かぬ
日本列島
しらけぶり。

〈ハハハ、こりゃ、いいわー。皆さんもぜひ一緒に〉
〈テレビ映りがいいですねえ閣下〉
特別おまけに、
〈なんせ、ドン顔だからねえ。〉

ふるさとは
とおきにありて
おもうもの
ふるさとのドンは
ありがたき（注1）（注2）かな

〈注1〉 世界中を探しても存在しない、バカで滑稽で懲りない一国のリーダーを讃えて。

〈注2〉 ドンドン行くでえーと数あわせが政治だと信じ込んでいる複数政党を翼賛して。

（『フランスニュースダイジェスト』 NO 574 2001年4月13日号